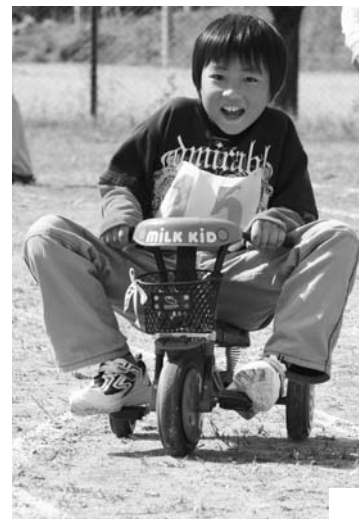


町民が楽しく交流

23年ぶりに町民大運動会



町民大運動会が10月4日、平泉中学校校庭で23年ぶりに行われました。21行政区中17区から参加した約1500人が、多彩な種目に心地良い汗を流し、交流を深めました。

開会式では各チームの選手たちが堂々の入場行進を披露。佐々木匠さん(平泉小6年)による聖火の点火、高橋町長のあいさつなどに続き、高橋禎彦さん(12区)が力強く選手宣誓しました。

大会では徒競走やボール送り、年代別リレーに加え、積み上げられた紅白の玉を取り合つて自陣のかごに投げ入れる玉入れ、児童が三輪車を乗りつないでリレーする「三輪車レース」など趣向を凝らした種目も行われ、老若男女がハッスルプレーを繰り広げていました。

行政区対抗の総合上位は次の通りです。

優勝 15区 準優勝 11区 3位 10区

掛け声で歩調を合わせながら進んだむかでリレー 玉の争奪戦で行った玉入れ 目まぐるしく順位を入れ替え、白熱した展開を見せた年代別リレー 小さなペダルの扱いに悪戦苦闘した三輪車レース 息を合わせてボールをパスしたボール送り 大会後、地区公民館に集まり総合優勝を祝った15区住民

文化財維持と森林保全へ

「平泉古事の森」事業で植樹

平泉の文化財修復に使う木材の確保や森林保全に取り組む「平泉古事の森育成協議会」(会長・高橋町長)による森づくり事業が9月26日、当町などを会場に行われました。

始めに町営毛越寺駐車場で式典を開催。高橋町長と岩手南部森林管理署の岩下秀美署長が、森づくりの協定書を締結しました。

奥州市衣川区月山の国有

林に移動して行われた記念植樹には、当町の平泉と長島、同市衣川区の小学校4年生、関係者ら約200人が参加。約16㍍にヒバの苗木200本、ケヤキの苗木50本を丁寧に植えました。

同日は平泉小体育館で「古事の森」提唱者の作家立松和平さんが記念講演し「木を育て森をつくっていくことが文化財を守ることにつながる」と訴えました。

催し多彩 登録へ心一つに

「チーム平泉」世界遺産登録祈念イベント

県が進める「平泉の文化遺産」世界遺産登録応援キャンペーンの一環「チーム平泉」世界遺産登録祈念イベント」が10月3日、旧観自在王院庭園などで開かれました。

町内外から約400人が参加。「平泉の文化遺産」をPRしようと結成された「チーム平泉」から参加した県内民放4局のアナウンサーとともに、町内の史跡を巡るウォーキングや応援メッセージの寄せ書き、地元郷土料理「はっと汁」の振る舞い、平泉に関するクイズ、集合写真撮影会など多彩な催しを通して、登録実現へ心を一つにしています。

県が進める「平泉の文化遺産」世界遺産登録応援キャンペーンの一環「チーム平泉」世界遺産登録祈念イベント」が10月3日、旧観自在王院庭園などで開かれました。

町内外から約400人が参加。「平泉の文化遺産」をPRしようと結成された「チーム平泉」から参加した県内民放4局のアナウンサーとともに、町内の史跡を巡るウォーキングや応援メッセージの寄せ書き、地元郷土料理「はっと汁」の振る舞い、平泉に関するクイズ、集合写真撮影会など多彩な催しを通して、登録実現へ心を一つにしています。



上/奥州市衣川区の国有林で植樹する児童 右/「古事の森をつくろう」と題して記念講演する立松さん 左/協定書締結で握手を交わす高橋町長(左)



右/「平泉の文化遺産」などを題材にしたクイズで正解し喜ぶ子どもたち 左/世界遺産登録への応援メッセージを大きな旗に書き込む参加者 下/登録への願いを込めて撮影した集合写真